

2017年4月7日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 証券コード: 4324)

### 電通、スペイン最大級のデータ分析コンサルティング会社 「ディビサデロ社」の株式94%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、スペインのデータ分析コンサルティング会社「DIVISADERO DIGITAL INTELLIGENCE SL」（本社：マドリード市、Managing Director：Manuel Blanco、以下「ディビサデロ社」）の株式94%を取得すること、および今後完全子会社化するオプションを当社グループが有することにつき、同社株主と合意しました。

2005年に設立されたディビサデロ社は、マドリード市、バルセロナ市に営業拠点、北スペインに開発拠点を持っており、90名以上のエンジニアやアナリストなどを擁しています。

同社の強みは、さまざまなデータの提供とその分析能力にあります。データを有益な情報に変え、その情報を企業の意思決定に生かすというモットーの下、顧客企業に対して、デジタル成熟度評価、戦略的ロードマッピング、テクノロジー・ベンチマーキング、データ収集および分析のほか、CRM関連のスキルを用いたオーディエンス・プロファイリングのサービスも提供しています。スペインの5大銀行のうち3行や2大保険会社を顧客に抱えるなど、高い評価を得ています。

株式取得後、当社はディビサデロのブランド名を残したまま同社を当社グループの10のグローバルネットワーク・ブランド※の1つでデータマーケティングのサービスを提供しているMerkle Group Inc.（マークル）のネットワークに組み込みます。これにより当社グループは、グローバルに展開するマークルのスペインをはじめ欧州におけるプレゼンスと専門性を高め、同地域における成長戦略を加速させていきます。

なお、本件が当社の2017年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Brand Agencies）、Dentsu media、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

**【ディビサデロ社の概要】**

社名 : DIVISADERO DIGITAL INTELLIGENCE SL (ディビサデロ社)  
本社所在地 : スペイン・マドリード市  
バルセロナ市に営業拠点、北スペイン (ヒホン) に開発拠点を置く  
設立 : 2005 年 12 月  
株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 94%  
収益(Revenue) : 451 万ユーロ (約 5.4 億円) (2016 年 12 月期)  
代表者 : Manuel Blanco (Managing Director)  
従業員数 : 90 名以上  
事業内容 : データの収集・分析・提供およびコンサルティングサービスを提供

以 上